



▶誓いの言葉を述べる谷優子さん（中央）と山田恵さん（左）



▲友人との再会に笑顔で「ピース」

夢や希望が語れる素敵な大人に —平成21年 南丹市成人式—

1月11日、南丹市園部公民館で二十歳の門出を祝う成人式を挙行了しました。スーツや晴れ着姿の新成人312人が出席し、小・中学校時代の恩師や多くの来賓が若者の輝かしい前途を祝福しました。

今年の成人式対象者は、昭和63年4月2日から平成元年4月1日生まれの市内在住者423人（園部237人、八木82人、日吉62人、美山42人）で、市内の小・中学校を卒業した方などで出席を希望される方々も対象としました。

久しぶりに出会った同窓生との会話は軽やかで、にぎやかに近況を報告し合う様子には若々しさが溢れていました。式典が始まると、来賓の方々から自分たちに贈られる祝福の言葉に、真つすぐな視線を向けていました。

佐々木市長は新成人に対し、「一瞬一瞬を大切に、自分の目標に向かって進んでください。皆さんの若い力と行動力で、新しい時代の南丹市を共に築いていただけることに大いに期待しています」と述べました。そして出席した新成人全員に、成人式実行委員が選んだエコバックとマグカップを記念品として南丹市から贈り、大川あさみさんが代表して壇上で受け取られました。

そして、新成人を代表して谷優子さんと山田恵さんが誓いの言葉を述べられました。



▲懐かしい先生方や友人との思い出のひとつ

「振り返ると、家族、友人、恩師、たくさんの方々を支えられてきました。お世話になった方々の気持ちをお大切に、ひとりの人間として自覚を持って、堂々と自分の夢や希望が語れるような素敵な大人になりたいです」

式典終了後は記念撮影を行い、人生の節目にきらめく姿を写真に収めました。地域ごとに行われた懐かしい先生方や友人との懇談では、それぞれの成長を喜び、かつて二十歳の自分に向けて書いた手紙が登場する場面もありました。